

令和5年度 第2回 JSSR 国際委員会審議事項

日時：令和5年4月4日（火）20:00-21:00

場所：Zoom

出席：（委員長）酒井大輔

（委員）北村和也, 菅野晴夫, 加藤壯, 玉井孝司, 宮城正行, 名越慈人, 高橋真治,
安藤圭, 宮崎正志

（アドバイザー）波呂浩孝（理事長）, 伊東学（担当理事）, 松山幸弘

欠席：重松英樹, 高畑雅彦, 中村雅也

(敬称略)

1. 審議事項

1) NASS international symposium について

NASS と JSSR との combined symposium（90分）が開催されることになったので、JSSR から玉井先生に加えて、参加表明をしてくださった北村先生で参加することになった。

（伊東）OPLL 関連のシンポジウムになる予定で、先方もビッグネームを出してくるので、3名をリクエストされたが2名派遣することとした。

2) Asia Travelling Fellow (ATF)

（高橋）派遣先について確認が取れており、予定通り派遣できる見込みである。10名のうち2名は参加ができないとのこと。

JSSR の掲示板に選出フェロー（10名）の掲示を再開することとした。

委員会との写真撮影は、2日目の朝8時に103に集合、掲示板前で行うこととする。

3) 韓国 KSSS との MEMORANDUM OF UNDERSTANDING (MOU)締結について

メールで回覧した通りであるが、前回までと異なる内容が含まれていた。先方の世代交代があり、今後も同様の関係を継続したいとの意向であるようだ。

（波呂）TWSS に対しては、こちらもトラベリングフェローを受け入れる目的で秋くらいに受け入れを始めていたが、宿泊などは先方が負担していた。ホストは食事や観光などの対応をしていた。

（酒井）KSSS との関係は、学会と絡めての企画にしようとしているようだ。JSSR では TWSS 同様に過去に2回程度韓国側のフェローを受け入れた実績がある。KSSS は毎年 KSSS 総会に JSSR から学会参加、発表のみの5人のフェローを先方より派遣依頼があり、派遣しているが、宿泊・食事費用が先方持ちになっているので（旅費は

JSSR)、先方に不公平感があり ATF と一本化したいのかもしれない。ATF のフェローと、KSSS 総会に参加するフェローで混同があるようだ。今回第 15 回 ATF の 2 週間にも KSSS の総会を絡めたスケジュールを先方が出してくれているので今後はそのようにする。

(波呂) 国際委員会の懇親会後に先方の president と話し合いを行う。

(松山) MOU はシンガポールも興味を示しており、TWSS などとも齟齬がないように今後結んでいく好機である

4) JSSR 会期中の国際委員会ディナー

52 名くらいの参加を予定。積極的にホストとして懇談していただきたい。学会場からはバス移動 (18 時半発)。

5) 台湾 TWSS, 韓国 KSSS からのトラベリングフェロー 旅程

JSSR 会期前に札幌の病院を見学していただく。KSSS はそこまで。TWSS は会期後に大阪へ移動し、その後東海大、聖隷浜松へ。

来年以降は KSSS/TWSS とともに 2 週くらいの日程で JSSR の会期と絡める予定なので、委員の各施設で受け入れをお願いしたい。1 日 1 人あたり 7000 円の補助が施設に出る。

6) English Presentation Award

JSSR 会期中に 1 日中第 3、4 会場で行われる。委員に座長を依頼している。その他の時間も是非積極的に参加してセッションを盛り上げていただきたい。授与式は全員懇親会で行われるのでこちらも是非委員には参加していただきたい。採点の回収などもいつも時間がないので PCO に予め依頼しておく。

7) Spineweek について

APSS セッションで JSSR に参加依頼が来ているので委員各位に個別にお願いをしている。

8) Spine20 について

(伊東、玉井)

インドの団体も加入して 40 団体になり、結構組織が大きくなってきている。8 月 10-11 日にニューデリーで行われる予定。ハイブリッドなので是非参加していただきたい。これからの継続性を考えてもう一人若手メンバーに加わってもらえるとありがたい。東大の加藤に本年のサポート依頼をしたいので国際委員会として正式に依頼したい。(委員会承認) 今後も固定メンバーでなく、ローテーションしていき

たいと思っている。JSSR が発足当初から参加したことでプレゼンスを示せており、NASS や Eurospine との連携を強められそうである。

9) その他の連絡

(波呂) 学会への海外からのゲスト招聘の待遇について、JOA の対応に従って上限を決めたい。竹下先生によればアメリカは 150 万円、カナダ・ヨーロッパ・オセアニア 80 万円、アジア 30 万円。

(伊東) フライトの先方都合の急な変更などでコストがかかったりする場合もあるので、上限は定めた方がよい。

以上